

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度(平成31年度)	科目名	軟部組織損傷総論	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	柔道整復科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	南江堂 柔道整復学・理論編 改訂第5版 一社団法人 全国柔道整復学校協会 監修一 に準拠する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	青木 伊之	実務経験の有無・職種	有・柔道整復師		
<b>学習目的</b>					
捻挫、打撲、挫傷といった軟部組織損傷の基礎的部分について総体的に理解するのがねらいである。前期で受講した運動器の授業に基づいて軟部組織(筋、腱、末梢神経、血管、リンパ)の基本的な構造と機能を理解し、体表解剖学、運動機能学的に裏付けられた視診、触診、周径・関節可動域、筋力、肢長などの健側との比較、関節の動揺性や損傷部の疼痛などを誘発させる徒手検査などを通じた損傷状態の把握を行うために必要な軟部組織の損傷の形式、外傷発生力学の特徴、各々の軟部組織の損傷における特異的の症状など、軟部組織損傷を診る上での基礎を理解する。					
<b>到達目標</b>					
捻挫、打撲、挫傷といった軟部組織損傷について、筋、腱、末梢神経、血管などそれぞれの組織についての解剖学的、生理学的、運動学的な理解を基に、それぞれの組織に損傷時に加わる力の種類やそれに影響を与える要素、痛みの種類やメカニズムとその評価、それぞれの組織の損傷の概説、それぞれの損傷の性状や程度、部位などによる分類、損傷の発生機序、特異的の症状、治癒機序、治癒経過、治癒に影響を与える因子、予後、合併症、鑑別診断を要する類症などについて総体的に説明できるようになることを到達目標とする。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	プリントを用いる。軟部組織(筋、腱、末梢神経、血管、リンパ)の基本的な構造と機能を理解し、それらの損傷の形式、外傷発生力学の特徴、各々の軟部組織の損傷における特異的の症状についての理解するよう、授業を進める。				
注意点	医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
平常点	0%				
<b>授業計画(1回～15回)</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	筋の損傷1	筋の構造と機能、筋損傷の概説について理解する。			
2回	筋の損傷2	筋損傷の分類、筋損傷の症状について理解する。			
3回	筋の損傷3	筋損傷の治癒機序、筋損傷の予後について理解する。			
4回	腱の損傷1	腱の構造と機能、腱損傷の概説について理解する			
5回	腱の損傷2	腱損傷の分類、腱損傷の症状について理解する。			
6回	腱の損傷3	腱損傷の治癒機序について理解する。			
7回	末梢神経の損傷1	末梢神経の構造と機能、神経損傷の概説について理解する。			
8回	振り返り(1)	1回～7回までの振り返り			
9回	末梢神経の損傷2	神経損傷の分類、末梢神経損傷の症状について理解する。			
10回	末梢神経の損傷3	末梢神経損傷の治癒過程について理解する。			
11回	血管、リンパの損傷1	血管の構造と機能、血管、リンパ損傷の概説について理解する。			
12回	血管、リンパの損傷2	血管損傷の分類、血管損傷の症状について理解する。			
13回	皮膚の損傷	皮膚損傷の概説について理解する			
14回	振り返り(2)	9回～13回までの振り返り			
15回	軟部組織損傷総論のまとめ	軟部組織損傷総論全体を通しての振り返り			